

地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 12日

（報告先）
横浜市長

住所 川崎市川崎区扇島1番地1号

氏名 JFEスチール株式会社東日本製鉄所（京浜地区）
常務執行役員 地区所長 石毛 俊朗

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	JFEスチール株式会社 代表取締役社長 北野 嘉久				
事業者の主たる 事業所の所在地	東京都千代田区内幸町二丁目2番3号				
主たる事業の業種	大分類	E 製造業			
	中分類	22 鉄鋼業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	環境保全条例施行規則第89条第6項ただし書きに該当のため非公表	kl	自動車の台数	台

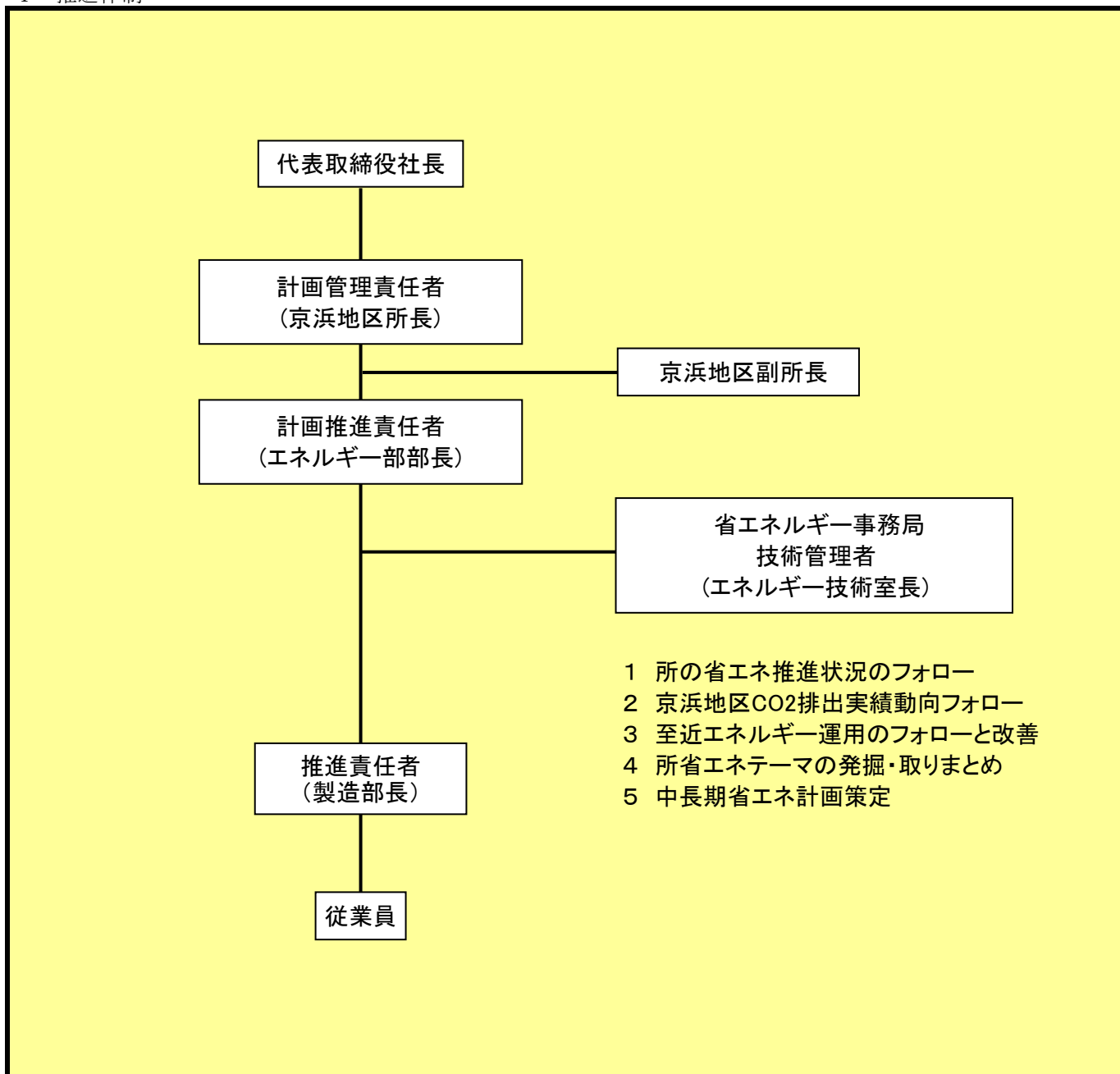
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016年度	～	2018年度	実施年度	2018年度
------	--------	---	--------	------	--------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>【基本方針】 JFEスチールでは、日本鉄鋼連盟の「低炭素社会実行計画」を推進し、製鉄プロセスにおける省エネルギーとCO2削減に向けたさまざまな取り組みを続けています。</p> <p>【主要なエネルギー使用設備の更新等の検討】 東日本製鉄所（京浜地区）横浜市域では、高効率設備導入による製鉄所の省エネルギーを実施いたします</p> <p>1. ①加熱炉レキュペレータ高効率化 ②十分な省エネ・CO2削減が見込まれる ③平成30年度 2. ①加熱炉リジェネバーナ設置 ②十分な省エネ・CO2削減が見込まれる ③平成30年度 3. ①事務所リフレッシュ（空調機更新） ②十分な省エネ・CO2削減が見込まれる ③平成30年度</p>

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	アメニティホール
	所在地	川崎市川崎区扇島1番地1号
	閲覧可能時間	9～17時
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	620,852	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	620,852	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	605,012	t-CO ₂	削減率	2.6 %		削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>製鉄プロセスにおけるエネルギー消費量・CO₂排出量は生産量の増減に大きく影響されます。京浜地区横浜市域での目標排出量の設定に当たっては、基準年度と生産量同一を前提として目標を設定いたします。</p> <p>[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討]</p> <p>東日本製鉄所（京浜地区）横浜市域では、高効率設備導入による製鉄所の省エネルギーを実施いたします</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 加熱炉レキュペレータ高効率化 2. 加熱炉リジェネバーナ設置 3. 事務所リフレッシュ（空調機更新） 								
事業者全体としての目標等	JFEスチールでは、日本鉄鋼連盟の「低炭素社会実行計画」を推進し、製鉄プロセスにおけるCO ₂ 削減に向けたさまざまな取り組みを続けていきます。								
第一年度 (2016年度)	排出量	666,620	t-CO ₂	削減率	▲ 7.4 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	666,620	t-CO ₂	削減率	▲ 7.4 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>平成28年度は、生産量変動により、排出の量は増加いたしました。計画しておりました温室効果ガス排出削減のための具体的措置を着実に実施しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本製鉄所（京浜地区）横浜市域で実施した具体的措置 高効率設備導入による製鉄所の省エネルギー 1. 加熱炉レキュペレータ高効率化 2. 加熱炉リジェネバーナ設置 								
第二年度 (2017年度)	排出量	701,770	t-CO ₂	削減率	▲ 13.0 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	701,770	t-CO ₂	削減率	▲ 13.0 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>平成29年度は、生産量変動により、排出の量は増加いたしました。計画しておりました温室効果ガス排出削減のための具体的措置を着実に実施しております。</p> <p>東日本製鉄所（京浜地区）横浜市域で実施した具体的措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製造中製品搬送ライン耐熱性向上による排熱ロス削減 								
第三年度 (2018年度)	排出量	680,195	t-CO ₂	削減率	▲ 9.6 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	680,195	t-CO ₂	削減率	▲ 9.6 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>平成30年度は、生産量変動により、排出の量は増加いたしました。計画しておりました温室効果ガス排出削減のための具体的措置を着実に実施しております。</p> <p>東日本製鉄所（京浜地区）横浜市域で実施した具体的措置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱延工場流体継手付ポンプの導入 ・厚板工場流体継手付ポンプの導入 								
計画期間全体の排出状況に関する説明	計画期間は、生産量の変動により、排出量は増加いたしました。計画しておりました温室効果ガス排出削減の具体的措置を実施して、排出量の増加の抑制を図ってまいりました。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂				t-CO ₂ /	
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO ₂	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO ₂	削減率	%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上	1	620,851	1	666,619	1	701,769	1	680,194
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	2	620,852	2	666,620	2	701,770	2	680,195

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度								
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	1/2	—	2018年度		照明リストの整備	実施中	1/2	—	2018年度		照明リストの整備	実施済	2/2	—	年度	照明リストの整備完了
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		負荷変動に対する必要容量評価策定中	実施中	0/1	—	2018年度		負荷変動に対する必要容量評価策定中	実施中	0/1	—	2019年度	負荷変動に対する必要容量評価策定中
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度		実施済	2/2	—	年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	地下駐車場無し	非該当	/	—	年度	地下駐車場無し	非該当	/	—	年度	地下駐車場無し		
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/2	—	2018年度		工場建屋に最適な照明検討中	実施中	0/2	—	2018年度		最優先箇所選定済み	実施中	1/2	—	2019年度	LED化
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度		実施済	1/1	—	年度			
	15	機器性能管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラ冷凍機 0/2	—	2017年度		ボイラ効率管理状況確認中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラ冷凍機 0/2	—	2018年度		ボイラ効率管理状況確認中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラ冷凍機 0/2	—	2019年度	ボイラ効率管理状況確認中
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 空調用冷凍機 0/1	—	2017年度		運転管理状況確認中	実施中	(設備の種類) 空調用冷凍機 0/1	—	2018年度		運転管理状況確認中	実施中	(設備の種類) 空調用冷凍機 0/1	—	2019年度	運転管理状況確認中
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラ 0/1	—	2017年度		ボイラ空気比管理状況確認中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラ 0/1	—	2018年度		ボイラ空気比管理状況確認中	実施済	(設備の種類) 蒸気ボイラ 1/1	—	年度	ボイラ空気比管理確認完了
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラ 0/1	—	2017年度		ボイラ種別の再確認結果、大防法の該当ボイラと判明運転管理状況確認中	実施中	(設備の種類) 蒸気ボイラ 0/1	—	2018年度		ボイラ種別の再確認結果、大防法の該当ボイラと判明運転管理状況確認中	実施済	(設備の種類) 蒸気ボイラ 1/1	—	年度	確認完了
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済	実施済	(設備の種類) ヘッダー 1/1	—	年度		実施済	ヘッダー 1/1	—	年度		実施済	ヘッダー 1/1	—	年度			
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 銅片加熱炉 2/2	—	年度		実施済	銅片加熱炉 2/2	—	年度		実施済	銅片加熱炉 2/2	—	年度			
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 空気圧縮機 2/2	—	年度		実施済	空気圧縮機 2/2	—	年度		実施済	空気圧縮機 2/2	—	年度			
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類) 空気圧縮機 2/2	—	年度		実施済	空気圧縮機 2/2	—	年度		実施済	空気圧縮機 2/2	—	年度			

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	—	年度		/	—	—	年度		/	—	—	年度		/	—	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	—	年度		—	/	—	年度		—	/	—	年度		—	/	—	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	—	年度		—	/	—	年度		—	/	—	年度		—	/	—	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	—	年度		/	—	—	年度		/	—	—	年度		/	—	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	—	年度		/	—	—	年度		/	—	—	年度		/	—	—	年度	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1		年度			
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	地球環境の向上を経営の重要課題と位置付け、環境と調和した事業活動を推進することにより、豊かな社会づくりをめざします。 ・鉄鋼スラグマリストーンで海洋環境を再生。ヘドロ状底質からの硫化水素発生を抑制。 ・鋼板を高張力化することで、自動車の軽量化が図れ、走行時の排出CO2を抑制。
計画期間内に実施する対策	・すべての従業員が積極的に環境保全に取り組む企業風土の醸成を目指し、入社時や昇進時の研修プログラム、階層別、職種別の教育研修など、さまざまな環境教育の実施。 ・グループ会社も含めた環境管理システムの継続的改善。
第一年度実績	・環境法令の遵守に向けた研修、法改正を周知する研修、実務者向けの廃棄物管理スキルアップ研修の実施。
第二年度実績	・環境法令の遵守に向けた研修、法改正を周知する研修、実務者向けの廃棄物管理スキルアップ研修の継続実施。
第三年度実績	1・社員への公害防止管理者取得励行では平成30年度96名が合格しております 2・グループ各社の環境管理者研修は平成30年度に3回実施おります また、環境法令の遵守に向けた研修1回、法改正周知研修2回、廃棄物管理スキルアップ研修を4回実施しております

14 実施状況等に対する自己評価

計画期間は、生産量の変動により、排出量は増加いたしました。計画していましたが、温室効果ガス排出削減の具体的な措置を実施して、排出量の増加の抑制を図ってまいりました。
--